

令和4年8月3日から8月5日にかけての大雨に関する気象速報

日本海からのびる前線が、8月3日から4日にかけて北陸地方に停滞し、5日には本州の南まで南下しました。また、5日には北陸地方の上空に寒気が流れ込みました。前線に向かって太平洋高気圧の縁を回った非常に暖かく湿った空気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、3日から4日にかけては新潟県で、4日から5日にかけては北陸西部で非常に激しい雨や猛烈な雨が降るなど、北陸地方を中心に記録的な大雨となりました。新潟県では、4日01時56分に大雨特別警報を発表して最大級の警戒を呼びかけました。

この大雨の影響により、北陸地方では、土砂災害に伴う人的被害のほか、浸水害、洪水害などが発生しました。また、停電や断水、交通機関の運休など、ライフラインへの影響がありました。

このときの気象状況をとりとまとめる目的で本資料を作成しました。

気象速報は次の URL からご覧下さい。

<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/bocho/bosai/disaster/20220803-0805/20220803-0805.pdf>

目次は以下のとおりです。

- 1 気象の状況
- 2 警報等の発表状況
- 3 被害の状況
- 4 気象台の対応状況

問合せ先：東京管区気象台 気象防災部 防災調査課 担当 高橋
電話 042-497-7217 FAX 042-495-3180